

公設市場の店頭風景



しんさいばしすじ  
心齋橋筋商店街

# だ い お お さ か 大大阪の時代

## 7 階



どうとんぼりかど  
道頓堀角座

この階では、近代・現代の大阪について展示しています。大阪は、明治時代に工場が次々つくられて、工業化が進みました。大正時代には工業生産額日本一の都市になり、「煙の都」と呼ばれました。また、人口も増え、大正時代の終わりには市域が拡大して「大大阪」が生まれました。煙による被害などの公害問題がありましたが、新しい都市の文化もうまれました。



町工場で働く人たち

# 7 階 近代現代フロアへ行く前に調べておこう!

7階事前学習用ワークシート



**Q1** 左は、大正末から昭和初めの大大阪時代に、大阪市長をつとめた人物の写真です。彼の名前を次のうちから、選びなさい。

- ア) なが えちろうみん 中江兆民
- イ) みの のべ たつきち 美濃部達吉
- ウ) せきはじめ 関一
- エ) しまむらとうそん 島崎藤村

**Q2** Q1の人物が市長であった時期に大阪市で起きたできごとを選びなさい。

- ア) アメリカ軍による空襲
- イ) 大阪紡績会社設立
- ウ) そうへいきょく 造幣局(寮)の開業
- エ) 大阪万博開催
- オ) みどうまじ 御堂筋建設工事開始

**Q3** 大阪市は、大正14年(1925)に西成郡にしなりぐんと東成郡ひがしなりぐんに含まれる全(①)ヶ町村を合併し、市域を拡張しました。これにより、市の面積はこれまでの約(②)倍となり、人口も約211万人となって、全国第(③)位の都市となりました。( )内を答えましょう。

**Q4** 大阪で最初の地下鉄が走ったのは、何年のことでしょうか? また、その区間はどこからどこまでですか?

地下鉄開通年 ( ① ) 年  
開通区間 ( ② ) から ( ③ )



**Q5** 昭和45年(1970)に大阪では日本万国博覧会が開催されましたが、明治時代にも国内外の産業を紹介する大規模な博覧会が大阪で開催されました。明治36年(1903)の第五回内国勸業博覧会だいごかいです。この博覧会の後に、その跡地に建てられ、現在でも大阪のシンボルとなっている建物は何でしょうか?

右の絵は、この博覧会の会場跡地に作られた娯楽の街「新世界」を描いたものです。絵の中央に描かれた高い塔の名前が答えです。



# 解答と解説

## Q1の答え ウ

### ⇒解説

大正・昭和時代に大阪市の助役・市長となった関一（1873～1935）は、住民にとって住みやすい都市の建設を目指した。関が市政に関わった時代の大阪市は、公設市場こうせついちばの設置などさまざまな社会事業や、御堂筋の建設などの都市計画が実施され、都市行政の理論・実践面で全国で最も先進的な地域となった。

## Q2の答え オ

### ⇒解説

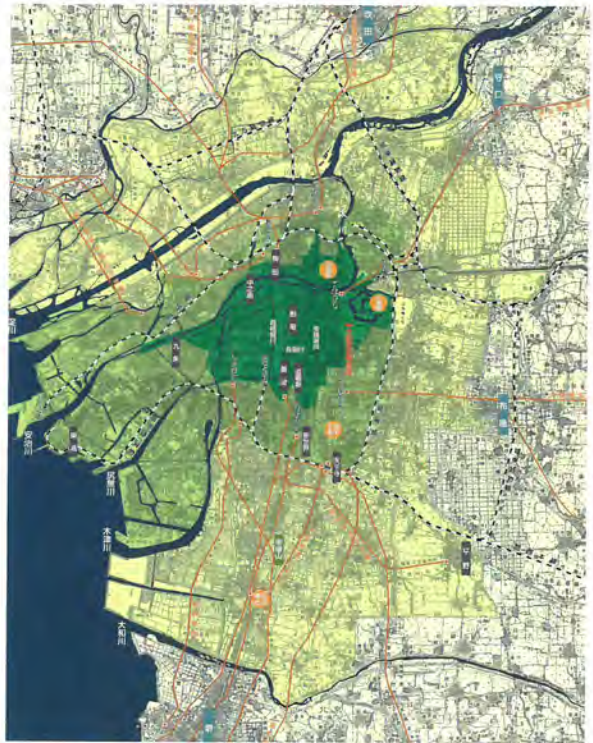
関一の市長就任期間は、大正12年（1923）11月から昭和10年（1935）1月まで。アメリカ軍による空襲は昭和19～20年（1944～1945）。大阪紡績会社設立は明治15年（1882）。造幣局（寮）の開業は明治4年（1871）。大阪万博の開催は、昭和45年（1970）。御堂筋建設工事は、大正15年（1926）から。

## Q3の答え ① 44 ② 3 ③ 1

### ⇒解説

大阪市は、明治30年（1897）に1回目の市域拡張を行い、大正14年（1925）に2回目の市域拡張を実施した。この2回目の市域拡張は、西成・東成両郡に含まれる全44ヶ町村を合併するという当時としては大規模な市域拡張であった。

				
第二次市域拡張時の編入地域 大正一四年（一九二五）	第一次市域拡張時の編入地域 明治三〇年（一八九七）	市制施行時の市域 明治三年（一八八五）	私鉄	国鉄



## Q4の答え ① 昭和8年（1933） ② 梅田 ③ 心斎橋

### ⇒解説

大阪の地下鉄は、昭和8年に第一号線（現在の御堂筋線）の梅田～心斎橋区間に開通し、昭和10年には難波まで、昭和13年には天王寺にまで延長し、市内の主要ターミナルが地下鉄によって結ばれることになった。

## Q5の答え 通天閣

### ⇒解説

第五回内国博覧会は、現在の天王寺公園周辺で開催された。会場内に遊技施設が設けられるなど娯楽色が強く、5ヶ月間に約435万人の入場者を集めた。この博覧会の会場跡地に、通天閣を中心とする娯楽の街「新世界」が明治45年（1912）に作られた。

# 7階 近代現代フロアについて考えよう! ☆

**Q1** 右の写真の市場の再現コーナーは、いつの時期に設定されたものでしょう?  
( ア. 4月 イ. 8月 ウ. 12月 )



**Q2** 長屋の町工場では、何を作っていますか?  
( ア. 抜きたがね イ. 刀 ウ. 水道管 )

**Q3** 再現された<sup>しんさいばし</sup>心斎橋筋でマネキンのある店はどれでしょう?  
( ア. ヨネツ子供服装店 イ. 大学堂 ウ. シマダ鞆店 )



**Q4** 再現された戎橋の広告塔には、どんな宣伝がありましたか?  
( ア. アサヒビール イ. 日の本タビ ウ. グリコ )

**Q5** 再現された劇場の名前は何ですか?  
( ア. 歌舞伎座 イ. 南座 ウ. 角座 )

**Q6** その劇場では何の出し物をしていますか?  
( ア. 歌舞伎 イ. 漫才 ウ. 映画 )

**Q7** 再現された郊外住宅でかっぽう着を着た女性がいる部屋は何でしょう?  
( ア. 台所 イ. 和室 ウ. 応接室 )



**Q8** 心斎橋以南の心斎橋筋は、和服、洋服ともに高級品を扱う店が軒を並べ、モダンな風俗の人々が行きかう街でした。ウインドーショッピングをしながら、この街をぶらぶら歩いて楽しむことを東京の銀座に対して、何とよんだのだろう? ( )

**Q9** 大正7年(1918)4月、大阪市が全国に先駆けて設置した庶民向けの市場がありました。生活必需品を適正な価格で供給することを目的にしていました。展示場では昭和15年(1940)の八百屋と魚屋の店先のようなすを再現しています。

- ・このような市場を何というだろう? (① )
- ・店の軒先にあるカゴは何のためにあるだろう? (② )
- ・魚屋の軒先にある新聞紙は何に使うのだろう? (③ )

# 解答と解説

## Q1の答え ウ

**解説** 再現されているのは、大阪市北区の本庄公設市場で、時期は昭和15年（1940）12月下旬の歳末大売り出しの期間中。公設市場は大正7年（1918）4月、大阪市が全国に先駆けて設置した。公設市場では食料品や衣料品のほかに荒物・木炭・花などさまざまな生活必需品が適性の価格で安定的に販売されており、「庶民の台所」として生活に欠くことができないものとなっていた。

## Q2の答え ア

**解説** 谷町六丁目にある長屋の町工場をモデルにしている。抜きたがねは、ゴム・革・紙・布・鉄板などの材料を打ち抜くための工具で、パッキングやレットルの製造などに用いられる。

## Q3の答え ア

**解説** 心斎橋以南には著名な小売店が集まっており、東京の銀座とならんで、日本を代表する名店街であった。

## Q4の答え イ

## Q5の答え ウ

## Q6の答え ア

**解説** 「芝居のまち」道頓堀の角座は、大正7年（1918）に建て替えられ、昭和15年（1940）に改装された。高く突き出た檣、招き看板や絵看板などが劇場街の雰囲気形成している。

## Q7の答え ウ

**解説** 千里山住宅（大阪府吹田市）にある住宅の一部を再現した。千里山住宅は、大阪北郊外にあり、大正11年（1922）に分譲が開始された。大阪市内とは北大阪電鉄により結ばれていた。

## Q8の答え 心ブラ

**解説** 心斎橋筋商店街は、江戸時代から続く老舗も多く、和服・洋服・装身具などを中心に高級品・流行品を扱う街としてにぎわい、モダンな風俗の人々が歩く街でもあった。



## Q9の答え ①公設市場 ②つり銭を入れておくため ③商品の包装紙として利用する

**解説** 公設市場は、大正末には市内に53の公設市場があり、庶民の台所として生活に欠かせないものとなっていた。

# 7

## 階 近代現代フロアについて考えよう! ☆☆

7階ワークシート ☆☆☆

**Q1** そうへいきょく ほうへいこうしょう 造幣局や砲兵工廠のような国が建てた工場を何といいますか？



明治初めの造幣局

**Q2** みどうすじ 御堂筋の道幅は5.4mから何mに拡張されましたか？ ( ① )  
また、御堂筋の建設は大正15年(1926)に開始され、昭和何年までかかりましたか？ ( ② )



拡張前の御堂筋



拡張後の御堂筋

**Q3** 昭和初期の大阪で大変人気を博した歌舞伎役者は誰ですか？ 初代中村 ( )

**Q4** 昭和6年(1931)に現在の大阪城公園内に市民の寄付金をもとに再建された建物は何ですか？

**Q5** 心斎橋以南の心斎橋筋は、和服・洋服ともに高級品を扱う店が軒を並べ、モダンな風俗の人々が行きかう街でした。ウィンドーショッピングをしながら、この街をぶらぶら歩いて楽しむことを東京の「銀ブラ」に対して、「心ブラ」と呼ばれました。当時一日に2度でも3度でも「心ブラ」を楽しむ人は珍しくなかったそうです。なぜ、「心ブラ」が市民を引きつけたのでしょうか？



**Q6** 環境の良い郊外での生活は、当時の都市居住者のあこがれでした。郊外住宅地の発展をうながしたのは、主に南海・阪神・阪急・京阪・大軌(現近鉄)・大鉄(現近鉄)・新京阪(現阪急)の7大私鉄だったそうです。なぜ、これらの私鉄は、郊外住宅地の開発に積極的だったのでしょうか？

# 解答と解説

## Q1の答え 官営工場

### ⇒解説

大阪砲兵工廠は、明治3年（1870）大阪城内に造兵司<sup>そうへいし</sup>仮庁<sup>かりちやう</sup>として創設され、造幣局は、明治4年造幣寮<sup>そうへいしやう</sup>として開業した。この二つの官営工場は、大阪における重化学工業の発達に多大な貢献をした。



大阪砲兵工廠製の24センチカノン砲

## Q2の答え ① 43.6m ② 昭和12年（1937）まで

### ⇒解説

もともと御堂筋とは、淡路町<sup>あわじまち</sup>から長堀川<sup>ながほりがわ</sup>までの道路であった。大阪市はこの道を市内の南北幹線道路にするため、道幅を拡張するとともに、北は梅田まで、南は難波まで延長することにした。

## Q3の答え 初代中村鴈治郎

### ⇒解説

明治から昭和初期に活躍した中村鴈治郎<sup>なかもりがんじろう</sup>は大阪に住み、大阪の人々に親しまれた役者で、「心中天網島<sup>しんちゆうてんあみじま</sup>」河庄の場の紙屋治兵衛は、彼の一番の当たり役であった。

## Q4の答え 大阪城天守閣

### ⇒解説

昭和6年（1931）市民の寄付金をもとに豊臣期の天守閣が再建された。復元天守閣の先がけであり、鉄骨鉄筋コンクリート造りである点で注目を集めた。



## Q5の答え

(例) 当時の心齋橋筋は、東京の銀座と並ぶ日本を代表する名店街であり、人々の購買意欲をそそる、ショーウィンドーという形式を持つ店舗が軒を連ねていたから。

### ⇒解説

長堀川に架かる心齋橋から道頓堀川に架かる戎橋までの街路は全長約700m、道幅約5.4mあり、東京の銀座と並ぶ日本を代表する名店街であった。江戸時代から続く老舗も多く、和服・洋服・装身具などを中心に高級品・流行品を扱う街としてにぎわい、モダンな風俗の人々が歩く街でもあった。

## Q6の答え

(例) 郊外住宅地を開発することで、鉄道利用者の増加を見込めるから。

### ⇒解説

明治後期から大正時代にかけて、大阪市内から郊外へ転居する人々が増え始めた。環境のよい郊外での生活は、工業化で住環境の悪化する都市居住者のあこがれとなり、商人やサラリーマンたちが移り住んだ。電鉄会社や土地会社は、この機運に乗り、沿線開発による鉄道利用者増加を目指し、阪神間など大阪周辺に郊外住宅地を開発した。

# 7階 近代現代フロアについて考えよう! ☆☆☆

7階ワークシート

☆☆☆

**Q1** 明治以降、大阪が工業都市へと発展するきっかけはどのようなものだったのでしょうか？

**Q2** 大正14年（1925）大阪市は市域を拡大し、人口は東京市を抜いて全国第一位の都市となり、大大阪の時代を迎えます。この時期、大阪市はどのような都市問題を抱えますか？



大正初めの大阪市内

**Q3** 大正14年（1925）に実施された大阪市の市域拡張は、<sup>ひがしなり</sup>東成・<sup>にしなり</sup>西成両郡に含まれる44ヶ町村を一気に合併するという大規模なものでした。合併された地域には広大な耕地が残されていたといわれています。なぜ、大阪市はこの時期に市域拡張を実施したのでしょうか？



大正14年（1925）の市域拡張によって編入された新市域（現在の十三付近）<sup>じゅうそう</sup>

**Q4** 大正時代には、普通選挙の実施を求める普選運動や労働者・農民や被差別部落の民衆の権利を求める運動が高まり、この時代のこのような風潮は、大正（ ① ）と呼ばれました。また、新聞・雑誌などのマスメディアが発達し、「活動写真」と呼ばれた映画などの大衆娯楽が発達し、文化の（ ② ）化が進みました。大阪市内でも「大衆娯楽のまち」（ ③ ）では、映画館や寄席が建ち並び、人々は安価にこれらの娯楽を楽しむことができました。

（ ）にあてはまる語句は何でしょう？

- ① ア) ビューロクラシー    イ) デモクラシー    ウ) テクノクラシー
- ② ア) 大衆    イ) 娯楽    ウ) 西洋
- ③ ア) <sup>どうとんぼり</sup>道頓堀    イ) <sup>せんにちまえ</sup>千日前    ウ) 新世界

**Q5** 大阪でラジオ放送が開始されたのは、大正14年（1925）のことです。当時のラジオ放送はどんな内容だったのでしょうか？



# 解答と解説

## Q1の答え

大阪の工業化の最大の原動力となったのは紡績業であった。大阪紡績が成功すると次々と紡績会社が勃興し、大阪は産業革命の全国的な中心地となる。

### 解説

明治15年（1882）に<sup>しほさわえいいち</sup>渋沢栄一らの提唱によって設立された大阪紡績株式会社は、翌年に操業を開始した。明治19年からは民間の工場ですべて電灯を設置し、24時間フル操業可能となった。これにより、大阪紡績は、株主への高配当を達成し、紡績ブームを呼び起こすことになる。



大阪紡績株式会社

## Q2の答え

ばい煙問題や住宅の過密化など都市環境の悪化

### 解説

大阪の工業都市化は、同時に公害都市化を意味していた。すでに明治30年代には大阪は「煙の都」と呼ばれるようになり、工場の煙突から排出するばい煙が住民の生活を苦しめるようになる。また、工業化にともなう市内への急速な人口流入は、極端な住宅不足を引き起こし、住宅問題は、大正期の大阪の深刻な都市問題であった。



市内の不良住宅

## Q3の答え

(例) 市内に緑地を確保し、市域内に良好な住宅地を形成し、市内の住宅問題を解決するため。

### 解説

大阪市で第二次市域拡張を推進したのは、市長である関一であった。関は、住みやすい都市づくりという理想のもと、市内に公園や耕地などの緑地を確保し、良好な住宅地を形成するために、市域拡張を推進した。

## Q4の答え ① イ ② ア ③ イ

### 解説

「芝居のまち」道頓堀は江戸時代からの伝統を有していたが、「大衆娯楽のまち」千日前は、明治以降に開発された新しい大阪の歓楽街であった。千日前は、道頓堀に比べて安価に娯楽を楽しむことができた。

## Q5の答え

落語、浪曲、音楽、スポーツ実況、教養、ニュースなど

### 解説

大正14年（1925）に設立された大阪放送局（後のJOBK）は、昭和3年（1928）にラジオの全国中継網が完成するまで、独自の番組を放送していた。「日用品物価」のお知らせや「英語講座」などの教養番組、さらには全国中等学校野球大会（現在の高校野球）の実況中継などを放送した。



昭和初期の道頓堀・千日前

## 近代現代フロアの問題作成を担当して

「体験できる博物館」から学ぶおもしろさを発見しよう。ワークシート集を手がかりに、頭とからだ、自分の感覚をフルに使って、興味あるテーマ・時代を掘り下げていこう。「巡って・感じて・考える」中できっと学ぶおもしろさが発見できるはずです。

学校とはちがった場所で、調べ知っていく楽しみが味わえ自分の興味ある時代にどんどん入っていくこと、そこにはおもしろいことがたくさんあるはずです。この博物館はどういう意図でこんな展示をしているのだろうか、単に並べているだけなのか。何かメッセージを伝えようとしているのか。実際にある物（展示物）をどうとらえるか、これも自分の頭で考える訓練となり、過去と現在の結びつきを探り、これから未来がどうなるかを考える力を養うためにつくりあげたワークシート集です。

（大阪市立淀中学校 朝重 浩一）

## 中学校の先生方へ

大阪のメインストリートといえば「御堂筋」、大動脈といえば「地下鉄御堂筋線」、台所といえば「公設市場」etc…。これらはすべて関一<sup>（ひきはじめ）</sup>第7代大阪市長の代に整備されました。現代大阪の都市基盤は、まさに「大大阪時代（大正末期～昭和初期）」に築かれたのです。教育の普及にともない、文化の大衆化が顕著になったのもこの頃です。和装の紳士や洋装のモガたちが心齋橋筋や道頓堀を行き交い、主婦は生活必需品を求めて公設市場に集い、私鉄各社の誘致と相まって郊外にモダンな住宅が立ち並ぶ。大阪の街はかつてないほどの活気に満ちあふれていたことでしょう。そんな大大阪に、ぜひ生徒たちを誘ってください。生徒たちが普段見慣れた街なみの礎を、きっと大大阪の中に発見できることでしょう。

（大阪市立天満中学校 西田 清盛）

## 近代現代フロア<sup>（1）</sup>の制作裏話 — 博物館より —

「庶民の台所 公設市場」の再現では、昭和15年（1940）歳末の本庄公設市場をモデルにしており、八百屋と魚屋の店舗を見ることができます。八百屋では、年末らしく雑煮大根や金時人参などをリアルに再現しています。天王寺かぶら、田辺だいこん、勝間<sup>（かつま）</sup>なんきんといった大阪特産の野菜も並んでいます。魚屋の店先は、近所の奥さんが孫をねんねこで負いながら、買い物をしている場面です。手に提げている買い物かごや、店にぶら下がっている釣り銭入れなど、細かい部分にもこだわりながらシーンを作っています。「道頓堀の角座」でも、舞台を描いた絵看板や役者名を記した招き看板などもひとつひとつ復元しています。